

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## プレミアグループ株式会社（証券コード:7199）

### 【新規】

長期発行体格付  
格付の見通し

A-  
安定的

### ■格付事由

- (1) 中核会社のプレミアを軸とし、ファイナンス事業、故障保証事業、オートモビリティサービス（AMS）事業といった自動車に関するサービスを総合的に展開するグループの純粋持株会社。グループ信用力は一定の市場地位・競争力、安定的な収益力、比較的良好な資本充実度などを反映し「A-」相当とみている。グループの一体性が強いことから、長期発行体格付はグループ信用力と同等としている。
- (2) オートクレジットでは一定の市場地位・競争力を有する。全国の中小規模の自動車販売店や整備工場との強固な加盟店網、自動車に関する多様なサービス提供を強みとしている。ファイナンス事業では、クレジット取扱高でみたシェアの拡大が続いている。故障保証事業では、第三者保証における業界首位の高いシェアを背景に、取扱高を伸ばし、営業資産が着実に積み上がっている。AMS事業においては、車両卸販売、ソフトウェア販売などの収益が拡大している。また、自動車販売店などを会員とし、販売支援などの特典を提供するカープレミアクラブの運営により加盟店との取引を深耕している。クロスセルの推進などで顧客基盤を拡充し、営業資産やオートクレジット市場におけるシェアを持続的に拡大できるか注目していく。
- (3) 収益力は格付相応である。ファイナンス事業では、着実に積み上げてきた営業資産からの収益を安定的に計上している。故障保証事業やAMS事業の成長による収益源の分散も進んでいる。業容の拡大に加え、DX推進によるバックオフィスの効率化などで税引前利益は増益傾向にある。信用コスト・調達コスト対比でみた基礎的な利益（信用コスト等控除前の税引前利益）の余裕度は十分にあり、ROAでみた収益性も相応の水準を確保している。今後もカープレミアクラブの拡大や加盟店当たりの取引量増加などを通じて利益水準を高めていくとJCRはみている。
- (4) 資産の質は健全である。与信運営は適切に行われており、初期与信や債権管理回収の高度化が進んでいる。主要な営業資産は小口分散したオートクレジット債権であり、抱える信用リスクは小さい。延滞債権比率が上昇しているが、システム障害による一時的な影響であり、対象債権の返済正常化も進んでいることから徐々に低下していくとJCRはみている。また、オートクレジット債権には取引信用保険が付保されており、保険料を支払うことで信用リスクをヘッジしている。
- (5) 資本充実度はAレンジに見合う。自己資本の規模は大きくないが、JCR調整後の自己資本比率やリスク対比の資本の余裕度は相応の水準にある。また、流動性は確保されている。オートクレジット債権の大半は提携ローン方式であり、資金負担は抑えられている。一時的な運転資金の増加については、メインバンクを中心とする借入で対応している。

（担当）坂井 英和・松澤 弘太

### ■格付対象

発行体：プレミアグループ株式会社

### 【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年1月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「クレジットカード・信販」（2022年6月21日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) プレミアグループ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであります。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル